

# 第 75 回全国産業安全衛生大会 in 仙台

三間 達也 化学・生物技術分野

大塩 茂夫・相田 久夫 総合安全・情報管理技術分野

## 1. はじめに

平成 28 年 10 月 19 日（水）～21 日（金）に宮城県仙台市で開催された中央労働災害防止協会主催による第 75 回全国産業安全衛生大会 in 仙台に参加した。本大会は産業界における労働安全・衛生管理や改善などについての発表と、安全・衛生担当者の情報交換を行うことで安全衛生活動の更なる推進を図ることを目的としている。

大学においても平成 16 年の法人化以降、安全衛生管理は重要な課題となっており、技術職員もその一端を担うためには幅広い知識を得る必要があると考え本大会に参加した。

## 2. 研修内容

1 日目の総合集会および 2, 3 日目の分科会において講演や研究報告を聴講した。

総合集会：仙台市体育館（19 日）において開催され、開会式、表彰式、大会宣言の後、厚生労働省労働基準局安全衛生部長・田中誠二氏による講演「労働安全衛生行政の動向」他を聴講した。



図 1 総合集会・仙台市体育館



図 2 総合集会会場内

分科会：仙台国際センター他の 5 会場において 2 日にわたり 12 の分科会が行われた。東日本大震災から 5 年を経過した今回は、防災・危機管理分科会が新たに設けられ、震災から得られた教訓や防災対策への取り組みの報告も行われた。

労働衛生管理活動分科会のパネルディスカッション「衛生管理者に対する教育と育成」において、専任の衛生管理者が他の業務を行っていることもあるとの現状が報告され、経営トップ等の意識改革の必要性が指摘されていた。また、事業場内だけではなく事業場外との情報交換等を行うことで、衛生管理者の資質向上を目指す必要があるとの提言があった。

本年 6 月から 640 物質について化学物質リスクアセスメントが義務化され、その対応について知見を得ようとの参加者は昨年のように会場に入りきれないほど多くはなかったものの、引き続き多くの者が集まり関心の高さがうかがえた。化学物質リスクアセスメント（RA）簡易ツールの開発や活用、RA 手順の考案等に関するパネルディス

カッションや研究発表は、今後の本学での衛生管理者としての業務を行う上で大いに参考になった。また、厚生労働省の化学物質対策課長奥村氏より、RA 義務化対象の物質は今後さらに増加するとの報告があった。(三間記)

産業心理学の立場から見た「ヒューマンエラーの本質と対策」の講演では、行動や信念が集団の基準に一致した方向へ変化してしまうこと、他者の存在によって個人の努力水準が低下する現象が生じることなどが実例を挙げて紹介された。心理学の立場から見たとき、こういった日常ごく普通に経験することの中にヒューマンエラーの原因が潜むことがよく理解できた。個人のエラーに対しては、その人のエラーの特性を把握して、個別に対策を考える「特性対応型」による対策が今後必要になるとの指摘があった。この講演で、ヒューマンエラーの本質が心理学の面からも見えてくることを知ることができた。

「見たくないものも目をそらすことなく地震時の事業継続を図る」と題した講演では、災害を未然に防ぐため、過去の地震災害に学び現代社会を点検することが大切であること、防災の第一歩目は建物構造を知ることだと強調されていた。地震は歴史に影響を与えてきた。歴史と災害の関係に気づけば、災害への備えをより強く思うことになるという話は印象深かった。(大塩記)



図3 分科会会場・仙台国際センター



図4 分科会会場

ゼロ災運動分科会ではKYT（危険予知訓練）に関する発表ならびにゼロ災運動表彰式があり、最後に「安全を創る7つのキーワード」と題して、おもてなし創造カンパニー代表の矢部輝夫氏の講演が行われた。「奇跡の職場」と言われる新幹線の車内清掃の話である。この中で「ルールを知らなかったはない。ルールは知っていたがしなかった。」「そもそも安全は存在しない、常に存在するのは危険である。危険を的確に予測し、確実に防止する努力を行う。」との話が大変印象に残った。(相田記)

### 3. おわりに

大会3日目の午後に鳥取県において震度6弱の地震が発生し、日本では何時何処で地震が発生しても不思議ではないことをあらためて考えさせられた。中越地震から12年が経過し、本学でも発生直後は対策に気を配っていたものの、最近では「喉元過ぎれば…」の感が否めないように思われる。今大会で得られた知見は地震対策を再確認する上で大いに参考となるものであった。

企業における安全・衛生の管理や対策、安全衛生教育、衛生管理者の活動等に関する知見を得たことは、今後の大学内における安全衛生を含む技術支援業務の遂行に資するものと考えられる。